

推進室だより

NO 1 2025・9・24

開校準備委員会 推進室

令和10年に予定している義務教育学校の開校に向けて、新校舎の立地や設計の計画（ハード面）ができあがり、いよいよ「校名」や「校歌・校章」、教育内容（教育課程）の計画づくり（ソフト面）がスタートしました。ソフト面については教育委員会と幌延小中の先生達がチームとなって、幌延の子どもたちのために話し合いを進めていきます。

【これまでの動き】

7/10・11 義務教育学校先進校視察

義務教育学校の先進的な実践を学ぶため、学校運営協議会を母体とした「検討部会」のメンバーと教育委員会、学校職員の代表で視察団を組織し、富良野市立樹海学校、中富良野町立なかふらの学園、中頓別町立中頓別小学校を視察してきました。開校準備で大切にしてきたことや施設・ソフト面の計画について学んできました。



9/3(金)「開校準備委員会」全体会&作業部会

小中の教職員全員が集まって「先進校視察の報告」と「義務教育学校の**全体構想案（裏面）**の確認」をした後に教務・生徒指導・研究・特別支援・事務・管理職の各部が担当する「作業部会」で計画づくりを行いました。作業部会では義務教育学校に向けた準備の他、仮校舎※での共同生活で必要なことについても活発な話し合いが行われました。

9/8(月)開校準備委員会(代表者会議)

9/3の開校準備委員会「作業部会」での話し合ったことについての交流と、これからの進め方についての確認を行いました。今後は作業部会ごとに集まり、ソフト面での話し合いをすすめていきます。

【今後の予定】

・R7 10月下旬～ 各作業部会での検討

教 務…日課表、儀式行事、成績、学校祭・学習発表会、総合的な学習の時間 等
生徒指導…生活のきまり、健康安全指導、避難訓練、運動会 等
研 究…職員研修、授業づくり、学力向上、家庭学習 等
特別支援…教室環境・教材教具、個別の支援計画・指導計画、児童生徒理解の職員研修 等
事 務…備品の整理・管理、引っ越し計画、予算関係 等

・R8 2月5日(木) 小中交流会(開校準備委員会 全体会): 共同生活・開校にむけての交流

・R8 4月～ 中学校の改修工事(小学校との共同生活に向けての教室整備)

・R8 7月 幌延小学校が現幌中に引っ越し(予定)

・R8 2学期以降は幌延中学校校舎での仮校舎生活※(予定)



表面

義務教育学校開校に向けた全体構想案

幌延町義務教育学校開校準備委員会 推進室

【校章】 …校名決定後
○テーマを一般公募
○デザイナーに依頼

【校名】(仮称)
○広く町民に一般公募(今年中)
○検討部会で検討。定例議会で承認(3月)

【校歌】 校名決定後
○歌詞の公募
○作詞・作曲の依頼

日本国憲法 教育基本法
学校教育法 学習指導要領
地域保護者の願い

幌延町義務教育学校(仮)

～持続可能な社会の創り手～

幌延小学校 自ら考え

仲間とともに行動する子ども

- ・自分を見つめ高める
- ・自他の良さに気づき認め合う
- ・力を合わせよりよい学校生活

幌延中学校 日本一温かな学校

- ・挑戦する生徒
- ・やさしい生徒
- ・支え合う生徒

【幌延町教育目標】
持続可能な社会の創り手となる子ども
自律・尊重・協働

【学校教育目標】(仮)

未来に向かって 温かな心(尊重)とふるさとへの誇りをもち、
自ら進んで考え(自律)仲間とともに(協働)高め合う幌延の子

【義務教育学校開校に向けたテーマ】

9年間のつながりを意識した学校教育(教育課程)の創造

- (4・3・2)の学びくくりを軸とし、活動の場面や学習内容に応じて柔軟に対応できる教育課程を編成する。
- すべての教科の知識・技能の横断的なつながりを高め、キャリア教育の基礎となる「自ら課題を見つけ、その課題を協働して解決する(社会参画力)思考・判断力を伸ばす。
- 9年間を通して、自己効力感や自己肯定感を高め、相手意識を持って仲間と協働し、安心して学習できる環境作りと人間関係作りを行う。

【子どもの実態や必要性に応じた「学びのくくり」】

【4・3・2】初等部(1～4年生)・中等部(5年生～7年生)・高等部(8～9年生)

- 特別活動でのリーダー性の育成(行事のカテゴリー分け等)
- 5年生以上の教科担任制(5・6年は一部で実施)
 - ・前期課程の教員のT2指導や部活動指導
 - ・乗り入れ教科担当の負担軽減(部活動指導への配慮等)
- 中等部から50分授業の実施
- 児童会/生徒会 小中合同委員会活動

学びのくくりの「メリット」
だと思われること

- ・4年生は初等部の最高学年としての意識、7年生は中等部のリーダー性を発揮できる。
- ・5～6年生は後期課程の教育活動を早くから体験でき、中・ギャップ解消に効果がある。
- ・乗り入れ授業や教科担任制等の専門的な指導で感性や情操、学習意欲を高めることができる。

【6・3】 小学校課程(前期課程)/中学校課程(後期課程)

- “学びの節目”の設定(6年生修了式・7年生始業式)
- 制服(7年生から)※ジェンダーに対応した制服への変更
- 部活動(大会参加は7年生以上…5・6年はお試し入部)
 - …地域移行に合わせて「少年団化」や「クラブチーム化」
- 問寒別との連携(6年生・中3での修学旅行など)

- ・他校との交流、部活動の大会やコンクールなどの参加などは「中学校課程」の枠が一般的。
- ・他校との連携授業や合同行事は一般的な「小・中」のくくりの方が活動しやすい。
- ・「小学校9年生にしない」ために小学校課程の修了式を行うことで気持ちをリセットできる。

※部活動は受け皿などの条件整備がされるまでは継続する。(地域移行の働きかけは継続)

【2・7】

- 生活科・総合的な学習の時間(調べ学習・地域探究・個人探究)
 - 学んだことを実際に社会で活かす力(社会参画力)
- 英語教育(英語遊び・9年生での英語活用能力)

- ・低学年特有の学習と中学年からの発展的な内容の教育課程が組みやすい。
- ・低学年ととも園の子どもたちとの連携がやりやすい。

【9】

- 9学年での縦割り班清掃などの縦割り活動
- 後期課程生徒が、1年生にPC支援など教科や行事での支援
- 小中合同避難訓練 クリーン作戦 全校集会 など
- 配慮が必要な子どもへの継続的な指導と情報共有

- ・下級生の「憧れ・目標・尊敬」。上級生の「やさしさ・責任」
- ・学校全体の一体感の醸成。
- ・児童生徒一人一人の指導歴や成長の様子が共有できる。

